

# 製品安全データシート

改訂年月日 2011 年 1 月 5 日

## 1. 製品名及び会社情報

製品名 **カーペット用 静電防止剤**  
 会社名 株式会社リンレイ  
 住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 4 丁目 10 番 13 号  
 担当部門 秦野工場 生産技術課  
 電話番号 0463-81-5455  
 FAX 番号 0463-82-4700  
 推奨用途 カーペット用帯電防止剤

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類  
 物理化学的危険性 該当しない  
 健康に対する有害性 急性毒性(経口) 区分外  
 ※記載の無いものは分類対象外又は分類できない

GHS のラベル要素

シンボル なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名/化学名	含有量 wt%	CAS.No.	化審法 No.	安全衛生法 No. 通知対象物	PRTR 法 No. 第 1 種、第 2 種
水	70-75	7732-18-5	—	非該当	非該当
両性界面活性剤	25-30	非公開	—	非該当	非該当
防腐剤	1 以下	非公開	—	非該当	非該当

環境ホルモン疑義物質	原料として使用していません
化学物質管理促進法(PRTR 法)規制該当物質	原料として使用していません
シックハウス・シックスクール配慮(VOC の使用)	この製品には、室内空気汚染の原因とされる厚生労働省指針値該当 13 物質成分を原料として使用していません
改正建築基準法における建築内装材の規格	当該法律に言う建築材料には該当しません ホルムアルデヒドを原料として使用していません
学校環境衛生基準該当物質	原料として使用していません

## 4. 応急措置

目に入った場合

- ・直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・大量の水及び石けん又は皮膚用洗剤を用いて十分に洗い落とす。
- ・溶剤、シンナーは使用しないこと
- ・外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

蒸気を大量に吸い込んだ場合

- ・直ちに医師の診断を受ける。
- ・空気の清浄な場所に移し、安静にする。
- ・呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。

蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合

- ・空気の清浄な場所で安静にする。
- ・必要であれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- ・被災者に意識がある場合、水をコップ1～2杯飲ませ、吐かせない。口の中を水でよく洗う。
- ・被災者に意識がない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火方法 : 本製品は引火しない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項

- ・河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・地域の規則に従う。

回収方法

- ・多量に漏出した場合: まず、土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固剤等で凝集措置をしてから回収する。
- ・少量の場合: 乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

< 技術的対策ならびに注意事項 >

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・周囲に人やペットがいないこと確認してから使用する。

< 安全取り扱い注意事項 >

- ・水禁忌物質との接触を避ける。

保管

< 保管条件 >

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風のよいところに保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・凍結に注意する。
- ・水禁忌物質との同一場所保管を避ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

保護具

目の保護 : ゴーグル等を使用する。

皮膚および身体の保護 : 皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける。

呼吸系の保護 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。必要に応じて送風マスクを使用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	無色透明な液体
臭気	ほぼ無臭
水への溶解性	溶解
沸点	約 100°C
蒸気圧	ほぼ水と同等
pH	約 8.4 (@25°C)
粘度	約 2 (mPa・s @25°C)
不揮発分	約 10 (wt%)
比重	1.04 ± 0.01 (@25°C)
引火点	なし
発火点	なし
その他	特になし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	一般環境下で安定
危険な反応	情報なし
避けるべき条件	40°Cを超える環境
避けるべき材料	水禁忌物質との混合禁止
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口 混合物判定理論経口 LD50 の推定値 ATEmix が 65000mg/kg であるため、区分外とした。
	経皮 データ不足のため分類できない。
	吸入 データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・単回暴露	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・反復暴露	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性・急性	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性・慢性	データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

移動性	あり
残留性/分解性	データなし
BOD	データなし
COD	データなし
生体蓄積性	データなし
魚毒性	データなし
その他	一般環境内には廃棄しない。

排水基準を定める総理府令別表第 1 に掲げる有害物質を含まない。

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

- ・廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および
- ・関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。

- ・地域の規則に従う。
- 汚染容器・包装
- ・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
  - ・地域の規則に従う。

#### 14. 輸送上の注意

- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。  
内陸水路輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  
海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。  
航空輸送 : 航空法の定めに従う。  
国際規制  
国連分類: 該当しない  
国連番号: 該当しない

#### 15. 適用法令

消防法	該当しない
PRTR 法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

#### 16. その他の情報（引用文献等）

化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂 3 版(国連出版物)

**（注意）このデータシートは製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。**